



目指す教師像

- 「工夫・改善」を心がけ、社会のニーズや児童・家庭・地域の実態に応じた教育が展開できる教師
- ◆教育の専門職としての誇りを持ち、授業で勝負できる教師
- ◆自らの「人間性」を磨き続け、児童・保護者・地域から信頼される教師

目指す学校像

- ◆地域に愛され、保護者に信頼され、児童も職員も誇りを持てる学校
- ◆学習の基礎・基本の確実な定着により、確かな学力を育む学校
- ◆工夫・改善し、豊かな教育を実践する学校

目指す児童・生徒像

- ◆真剣に学習に取り組む子 ◆自分の意見や考えを表現できる子
- ◆進んであいさつする子 ◆自分や友達を大切にすること
- ◆健康でたくましい子 ◆命を大切にすること

令和8年度から本格実施する「上尾中学校区小中一貫教育」に先立って、令和6年度より、目指す児童・生徒像を掲げました



コミュニティスクール

学校運営協議会が中心となり、学校教育目標の具現化を図ります
 学校・保護者・地域が一体となり、児童のより良い成長を目指します

保護者とのつながり

学校応援団とのつながり
 きらきらふれあいキャップが
 多様な取組をコーディネート

おやじの会とのつながり

学校教育目標

心を大切にする児童の育成

- 【知】ねばり強く学ぶ子
- 【徳】思いやりのある子
- 【体】明るく元気な子

学校でも家庭でも意識します

子どもを育てる四つのステップ

- 「自覚」
 自分でもできるのかな？
 自分でやってみよう！
 自分がやらないと・・・
 声かけなどによって自らの真価に目覚めさせます。
- 「自信」
 自分でもできたぞ！
 やればできるじゃないか
 もっとできるかも！
 誉めて、プラスの暗示で自信をつけさせます。
- 「自主」
 任せて力を発揮させましょう。
 指導・支援・助言・称賛・見守りの繰り返しです。
- 「自律」
 「自立」は独り立ち。
 「自律」は他からの力を借りずに自分のわがままを抑えて行動すること。自分の規律に従って行動すること。

学校経営の土台

- ①いじめ問題への対応・・・最優先課題「いじめ見逃しゼロ」「早期発見・早期解決・丁寧な見届け」
- ②不登校（不登校傾向）問題への対応・・・多様なニーズへの対応
 ★学習支援室「おあしす」整備★
- ③授業の充実・・・教師は授業で勝負
- ④サービスの厳正・・・教育公務員としてのあるべき姿を肝に銘じる
 「職場から、教職員事故を絶対に起こさない、起こさせない」、100-1=0
- ⑤本来の目的を意識した「働き方改革」の推進・・・「改革は、教育の質の維持・向上」

重点目標7つの柱

- 1 学級・学年経営の充実（自己有用感の育成）
- 2 学習指導の充実（教科担任制、上尾学びのイノベーションの推進）
- 3 生徒指導の充実（あいさつ、いじめ対応、10のしぐさ他）
- 4 豊かな心と健康な体づくり（道徳教育の充実、体力向上）
- 5 開かれた学校づくり（新しい保護者・地域との関係づくり）
- 6 特別支援教育の充実（交流教育の充実）
- 7 幼保小との連携の推進（学区内幼稚園、保育園、保育所等との連携）